

環境経済事業の認定

～「環境と経済が共鳴するまち」の実現を目指して、新たに1事業を認定～

豊岡市では、「環境と経済が共鳴するまち」（環境と経済が互いを刺激しながら発展する仕組み）の実現を目指して、環境経済事業（環境を良くする事業活動で利益が生まれるもの）の認定を行っている。

新たに認定した1事業および直近の認定状況をお知らせする。

1 環境経済事業の目的

- (1) 環境経済事業の販路拡大を支援する。
- (2) 市内での環境経済事業の取組み拡大を図る。
- (3) 重点的な支援により、環境経済事業の展開を促進し、豊岡経済の推進力とする。

2 新たな認定事業（2023年12月1日認定）

(1) 事業名

廃材を使用したカバンの企画、販売（認定番号 92）

(2) 事業所

三宅株式会社（豊岡市弥栄町／卸売業）TEL0796-22-6368



(3) 事業内容

ア アップサイクル素材（本来捨てられるはずの素材）のかばんを企画・製造し、販売する事業に取り組んでいる。かばんの卸売を通してサステナブルな地域社会への貢献を目指し、2021年2月に取組みを開始後、地域の他業種と幅広く提携しながら事業を展開している。

イ 商品ラインナップは、大きく次の3種類としている。

(ア) 市内の珈琲店（ヒグラシコーヒー）で豆の仕入れに用いた麻袋を使用したバッグ

(イ) 廃車のシートベルトとペットボトルの再生素材を表地に使用したバッグ

(ウ) かばんの製造工程で都度発生するナイロン、帆布^{ほんぶ}（綿や麻を平織りで仕上げた厚手の生地）、合皮などの残反^{ざんたん}（余った生地）を表地に使用したバッグ

（シートベルト再生バッグ、残反を使ったバッグの裏地には、自動車用エアバッグの規格外生地を使用）

ウ 麻袋やシートベルトの洗浄は提携先の市内クリーニング会社（株白バラドライグル

ープ) で行い、廃校を活用した施設で、山間に吹く豊かな風を取り込み自然乾燥している。

エ 地域の多様な事業者と提携し、材料となる廃材の仕入れから洗浄、乾燥、かばん製造まで地域で循環・完結する「Made in 豊岡」の新たな価値を、商品のPR・販売を通して広げていく。

市内の多業種連携による循環型事業（イメージ図）



(4) 認定のポイント

様々な廃棄物を材料として地域特性を有する商品に生まれ変わらせ、その工程においても環境負荷の低減が図られている。

3 環境経済事業の認定状況

認定数 82 事業 (79 事業者) (2024 年 1 月 5 日現在)

市ホームページ
環境経済認定事業
紹介ページ



[問合せ] コウノトリ共生部環境経済課 TEL0796-23-4480(直通)